

# 公營住宅(高見地)建設

# 工事請負契約など承認

次回市議会臨時会は、11月8日招集され、1日の会期で開かれました。

こんどの議会は、前回継続審査となった1議案のほかに2議案が提出され、それぞれ承認可決されました。

ま同一業者の北村建設との間に五千九百六十一万円の工事請負契約が成立。同定例会に工事請負契約の承認議案を追加提案し、継続審査となっていました。

賠償八十九万円

月八日開会され、それぞれ可決認して閉会されました。こんど可決されました公営住宅設は、同和対策事業としてさる十八年に『舟入団地』十六戸として計画され、四十九年十二月十七日に請負入札、翌二十八日札した北村建設(北村隆吉代表)五千五百三十五万円で工事を請負假契約、翌五十年八月、本契約結び準備されていたもので、計がすすむにつれて地元の人々の

せず、また、事故繰り越しなどの猶予措置の最終年ということもあり、年度内に工事完成の見込みがなくなり昨年末工事を断念、市の一方的な都合によつて工事請負契約を解約したもの。

こうしたことから、市は業者と交渉の結果、解約にともなう損害賠償額を資材代を含めて二千二百三十五万円とし、資材は本年度の公営住宅建設に使用するため一千九百二十四万円で買い取り、その差額二百十一万円を実損賠償額とするとして合意、さる六月定例会にはがつたものの、議会はこれを継続審査とし、さる九月定例会で否決しました。

ところで執行部は『舟入団地』に変るものとして、『高見団地』『十六戸』の建設を計画、九月に数

賠償八十九万円

よう」と質疑応答のうえ承認されました。

40年は、涙の連絡船（都はるみ）愛して愛して愛しちゃったのよ（田代みよ子）



県勢工学者

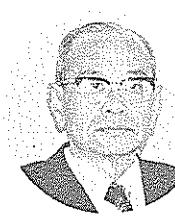
さる十一月三日 县勢助書  
して、南国市から土屋龍治、井  
満吉、松木伝三、北村真二郎さ  
の四氏が知事表彰を受けました。  
この表彰制度は、三十一年か  
始まつたもので、地方自治、商  
業など各分野で多年にわたってそ  
勢発展に功績のあつた人たちを  
事が表彰するもので、ことし表  
されたのは二十人でした。



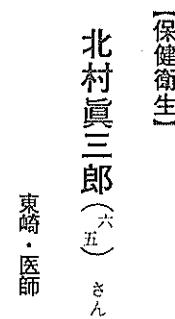
さる十一月二日、県勢功劳者として、南国市から土居熊治、井上滿吉、松木伝三、北村貞三郎さんとの四氏が知事表彰を受けました。

商業

并



開業医として地域に貢献する地域責任感を強調する。左側は、地域の医療に精励する住民の医療に対する希望を述べる。



# 同和事業を推進する。計画的な主な年度51年の

## 同和事業を推進 51年度の主な計画

國の市町村において実施されています。  
南国市も措置法成立以前より、  
じょじょに改善事業がすすめられ  
てきましたが、措置法の執行によ  
つてその事業の重要性が再認識さ  
れ、地区の環境整備づくりに不断  
の努力がはらわれています。  
ところで、ことし実施される同  
和対策事業は、自主財政再建の初  
年度ということではありますが、

三区見草遊園地堆溝改修工事  
地区内の各排水路整備改良工事、  
などが計画され、地区の生活環境  
の改善のための整備事業に、現計  
予算（九月補正予算）で、総額  
して、四億九千十五万円が計上さ  
れ、その財源として、国庫支出金  
五千四百一千万円、起債一億  
定財源一千九百一十四万円、一般  
財源二千一百五十五万円があてら  
れています。

▼國庫補助事業で、  
公営住宅（高見園地）十六戸、  
農道下末松線、小笠新年線の舗  
装、前浜共同複合燃費倉庫業所、  
西部地区道改良工事、下島浜集  
会所、それに前年度操越事業の  
五区線新設工事、大湊、浜塚  
改良工事、  
などが計画されています。

▼県費補助事業では、  
西山越戸線、七区排水路改良工  
事、下島浜下水路改修工事、長  
岡小学校通学路、若宮城、公営  
住宅増築工事、共同利用機具  
購入、農道前浜南線鋪装、前浜  
浜弓号線、同シバガハナ線、四  
区、八区下水、排水路工事、一  
区地区道路側整備工事、  
などがあります。

▼市単独事業に、

100

西高見で周開が田んぼという好環境にあり、鉄筋ブロック一階建て十六戸、児童の遊び場も設けられる」となっています。

県支出金九百三十四万円、起債四百万円、一般財源十五万円を財源として計上したもので、これによつて、さる四十八年以來の懸案事項であり、杉本前市長の不信任の一つにもなつた公営住宅建設問題も、ようやく解決をみることができました。

二千八百円にて処理できる。すると、使用者とケリをつけよ」という、方向づけを執行部に示しました。

それを受けた業者は、不満はあるながらも了承し、八十九万四千円の損害賠償の額の決定を承認議決が提出され、「三百十一万円の賠償額は正しいものだが、委員会の方向づけもあり、大局的な立場から譲歩してもらつた」、「圧力で弱い業者に迷惑を掛けることはおかしい。誤解をまぬく」とのないようにと質疑応答のうえ承認されました。

なお、一般会計補正予算の専決処分報告は、台風十七号災害復旧費一千五百四十四万円、農業施設費一百一十五万円、計一千四百六十六万円（累計